

「飲酒運転ゼロへの啓発活動」に参画

～福岡県民が飲酒運転ゼロを誓う日～

日本損害保険協会九州支部（委員長：横山 和広・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 常務執行役員）では、今年も「飲酒運転『ゼロ』」への啓発活動に参画しました。

福岡県では、2006年8月25日に発生した飲酒運転が原因となる交通事故で、3人の幼い子どもが亡くなった痛ましい事故を風化させず、飲酒運転撲滅の誓いを新たにする日として毎月25日を「飲酒運転撲滅の日」としています。また、8月25日（木）から31日（水）を「飲酒運転撲滅週間」と定め、県内各地で「飲酒運転撲滅県民大会」等さまざまな啓発活動を実施しています。

当協会も協賛している「TEAM ZERO FUKUOKA」(※)では、8月27日（日）に福岡市内で、「飲酒運転撲滅の誓い2023」を行いました。発生から17年が経過していることから、事故を風化させないよう毎年様々な活動を通じて、家族連れや若い世代に向けた啓発を行っています。

今年は、イベント会場にて飲酒運転撲滅をテーマにした高校生の書道パフォーマンスを行い、来場者には「飲酒をしない、させない」の思いを込めたハンドスタンプ（手形）作成への協力を呼びかけました。趣旨に賛同された方々のハンドスタンプ（手形）は、モザイクアート等にして、今後、新聞紙面や啓発ポスターで発表予定です。この日は、イベント等を通じて福岡県民が「飲酒運転撲滅」の誓いを新たにする日となりました。

当支部では今後も行政や関係団体と連携し、飲酒運転撲滅のための啓発活動を行っていきます。

※ TEAM ZERO FUKUOKA

- ・2006年に福岡市の海の中道大橋で発生した飲酒運転で3人の幼い子どもが亡くなった事故から5年後の2011年8月25日に、福岡県、福岡県警、福岡市等の行政や企業、団体などが協力し、スタートした飲酒運転撲滅活動。
- ・地元の西日本新聞の紙面を通じた呼びかけや啓発イベントの実施など飲酒運転ゼロに向けた啓発活動に取り組んでいる。



ハンドスタンププロジェクト



ハンドスタンプ作成